光和コンピューター 社員懇会

好業績、新卒積極採用など報告

出版社や書店などのシステム開発・販売を手掛ける光和コンピューターは6月13日、東京・千代田区の出版クラブ会館で社内懇親会を開き、寺川光男社長は増収増益の業績見通しや、積極的な新卒採用に取り組んでいることなどを報告した。

懇親会はコロナ禍で対面開催できなかったが、今回、会場には全国各地の拠点に在籍する社員も含めた108人が一堂に集まった。

寺川社長は冒頭のあいさつで、前期は増収増益を達成し、今期8月決算も増収増益の見込みだと報告。そのうえで、この3年間で15人の新卒を採用、24年も7人の新卒に内定を出し、社員108人のうち20代、30代が38%を占めるとし、「我々の仕事は分業だが、分業を担保するのは情報の共有とコミュニケーション。しっかりしたコミュニケーションを作ることが社の発展、社員の幸せにつながり、ユーザーの満足度につながると確信している」と述べた。

中締めのあいさつに立った創業者の柴崎和博相談役は、コロナ禍の3年間の動きとして、好業績を維持したこと、日本出版販売の取引書店のPOSシステムを担当することになり業界に必要とされる会社に1歩、2歩前進できたこと、研究開発部門を作ることができたことの4点を挙げ、「コロナ禍でも頑張ったと思う。ウイズコロナではもっと力を発揮する会社になれると思う」と述べた。

あいさつする寺川社長